

介護サービス基盤安定化に向けた市町支援事業業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和6年7月9日
2	場 所	書面審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	健康福祉局医療介護担当部長 健康福祉局医療介護保険課長 健康福祉局地域共生社会推進課長 地域政策局市町行財政課長 健康福祉局医療介護基盤課介護基盤支援担当監
4	議 題	介護サービス基盤安定化に向けた市町支援事業業務公募型プロポーザル選定について
5	担当部署	健康福祉局 医療介護基盤課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基に書面審査を行い、選定委員会において、最も高い評価点を得た提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者 A社：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 大阪 B社：株式会社日本経営</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者 審査の結果、A社が最優秀提案者として選定された。</p> <p>(4) 各委員の評価・選定理由 【A社】 ・同種の業務実績が豊富であることや支援に係る提案が具体的であることを評価した。 ・市町個別支援において、「目標設定」、「データ分析」、「課題分析」、「施策検討」を踏まえ、各地域の実情に応じた提案や助言を行うプロセスや市町との対話のサイクルを通じ、市町自ら課題や対策の深掘りを促すしくみになっていること、豊富な支援（分析）ツールに</p>

精通している点が高く評価できる。

- ・広島県での事業実施の実績があり、国や他県の情報にも精通していることから、適正な事業実施が見込まれる。
- ・豊富な県内実績や他県実績を有し、業務体制も整っていることから、これまでの知見を十分に活かし、有効な市町支援業務への実施が期待できる。
- ・過去に広島県業務の受託実績があり、会社及びアドバイザーも業務内容を熟知し、ノウハウを有していることから、本業務を円滑かつ適切に履行できると思われる。

【B社】

- ・中山間地域における課題への対応の視点は評価する点であるが、支援の提案がやや総論的、同種の業務実績が他社と比較し少ないことは評価しなかった。
- ・業務目的の主眼である中山間地域等の介護サービス基盤安定化についての課題と対応に関する認識と提案が具体的でない印象を受ける。(地域包括ケアシステムに関する事業の充実・強化の視点となっている。)
- ・県内での実績がないことから事業のスムーズな進行に不安はあるが、コミュニケーションをしっかりとることにより、適正な事業実施できるのではないかと。
- ・県内実績がなく、他県の実績も決して十分とは言えないことから、対象市町の抱える課題を十分に分析することができず、形式的・表面的な支援にとどまることが懸念される。
- ・いずれの項目も本業務を適切に履行するために必要な水準以上にあるが、県内の実績がないことから、実施にあたっては、委託者とのより密接な連携が必要である。